

報告書抄録

ふりがな	みやのたにせっかんぐん							
書名	宮ノ谷石棺群							
副書名	宅地造成（八幡西区永犬丸二丁目）に伴う埋蔵文化財調査報告							
巻次								
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第613集							
編著者名	安部和城							
編集機関	（公財）北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室							
所在地	〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田一丁目1番3号							
発行年月日	2022年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みやのたに 宮ノ谷 せっかんぐん 石棺群	ふくおかけんきたきゅうしゅうし 福岡県北九州市 八幡西区永犬丸二丁 目2303-1、2305-1 の一部、2306-1の 一部	40100	7021	33° 50' 35" .60	130° 43' 32" .14	20200109 ～ 20200203	600 m ²	宅地造成（八幡西区永犬丸二丁目）
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
宮ノ谷 石棺群	集落跡	弥生時代	竪穴建物 掘立柱建物 土坑 溝 柱穴	弥生土器 須恵器 石器		弥生時代後期から 終末期の集落跡		
要約	<p>本遺跡は、北九州市八幡西区永犬丸二丁目に所在する。</p> <p>調査では、竪穴建物2棟、掘立柱建物2棟、土坑19基、溝8条、柱穴321基を検出した。遺構の大半は上段調査区に集中しており、下段調査区では遺構検出面に芦屋層群（折尾砂岩）が露出していることや、検出された遺構の浅さから、大きく削平を受けているものと考えられる。検出された遺構からは、遺物の出土が少なく年代不明なものも多いが、竪穴建物や掘立柱建物を含めて、年代的には弥生時代後期から終末期に遺構のまとまりが見られる。</p>							